

設計から試運転まで一貫体制

STer

最前線

アイナックシステム（福岡県久留米市、稲員重典社長）は、半導体製造装置の制御設計を祖業とする。ここで培った技術やノウハウをベースに現在は、協働ロボットや無人搬送車（AGV）を活用したシステム構築も手がける。

稲員社長は機械部品などのメーカーで工場設備の保守管理を担当し、別の会社では半導体製造装置の開発にかかわった経歴を持つ。

「我々に何ができるかより先に、お客さまが何をしたいか」（稲員社長）との姿勢で、省力化や自動化による課題解決に取り組む。

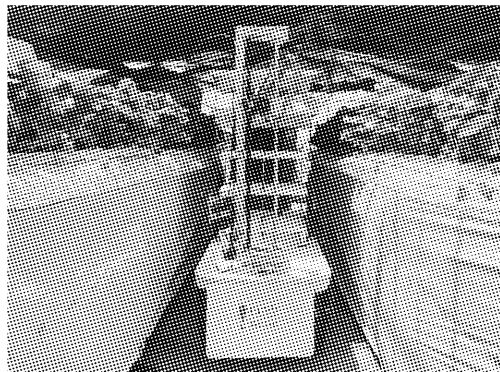
同社は半導体以外にも物流や食品、建設、農業など多様な産業分野に対応する。業務内容も設備機器の設計から製作、設置、試運転まで幅広い。受電設備工事を含む電気工事なども手がけ、配電盤は自社で生産。設備機器を設置する

建屋建設の相談にも応じる。こうした体制が「一貫して任せられる安心感につながっている」（同）と胸を張る。

同社のシステムは試験を繰り返しながら本運用に入るのが特徴。短期間で試作と開発を繰り返すアジャイル開発に近いスタイルで、「お客さまが納得するまで」（同）改良を重ねる。この方法はコストを抑えられるメリットもあるという。

同社が強みを持つのが農業分野だ。稲員社長は農家の出身。農業の現場を肌で知り、負担を軽減したいという強い思いがある。時間短縮や作物の収量増加、品質向上に技術で応えようとしている。

適切な水やりを液肥を混入しながらできる灌水（かんすい）システムは特に評価が高い。最近ではIoT（モノのインターネット）で温度や湿度などの情報を取得し制御に反映するシステムにも力を入れる。



イチゴ自動収穫ロボットシステム

現在開発しているのがイチゴの自動収穫システムだ。イチゴが植えられた棚の間を収穫ロボットが移動し、イチゴを一つひとつ摘んでいく。果肉に傷を付けずに収穫できる摘み方が特徴。収穫の判断は人工知能（AI）による画像認識を用いた。今後も改良を進め普及につなげる考えだ。

【企業概要】

▷所在地＝福岡県久留米市東合川4の1の1の101▷資本金＝300万円▷売上高＝約1億3000万円（22年4月期）▷従業員＝9人▷創業＝08年（平20）5月